食品ロス削減（フードバンク）

令和5年9月作成
北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課

特定非営利活動法人　ピーシーズ（旭川市）

フードバンク旭川
NPO 法人 ピーシーズ

並べられた食品

就労支援の作業の様子

【組織の概要】

- 団体名：特定非営利活動法人　ピーシーズ
- 所在地：旭川市
- 代表者：井上　俊一
- 活動人数：20名（就労支援事業所の作業員を含む）
- 活動開始時期：2016年
- HP：http://www.piece-s.xyz
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品：加工食品（常温）、農産物など
  ※賞味期限が短いものは要相談
- 提供の条件：賞味期限が1か月以上残っているもの

◇【団体発足の経緯】

◆ 代表の井上さんは大量の食品が廃棄される一方で日々の食事にも困っている人がたくさんいることに憤りを感じていた。障害のある家族がいることもあり、生活困窮者の助けになりたいとの思いから、食べられるのに廃棄される食料品と生活困窮者をつなげるために活動を始めようと決心した。

◇【活動の概要】

◆ 近くにある旭川市役所に相談に行った生活に困っている方への食品の提供が主である。市役所への相談の帰りに受け取りに来てもらう。その際、市役所から事前に世帯構成や生活状況などの情報をもらい、それを元に渡す食品を用意する。

◆ 市内のスーパーや浴場組合の協力を得て常時食品を受け付けるフードドライブを設置し、定期的に回収に行く。

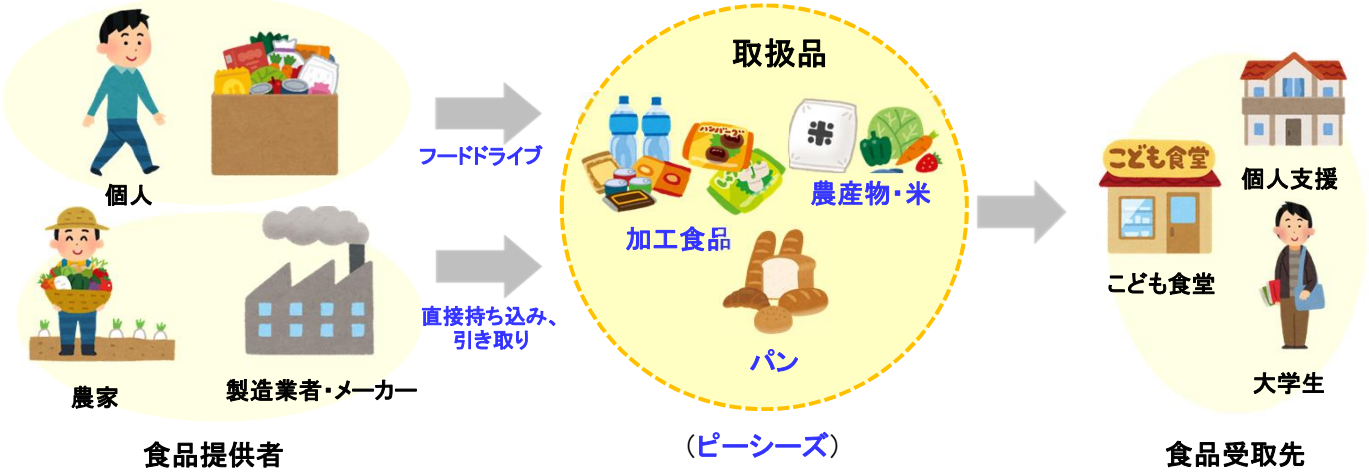
【取組む際に生じた課題と対応方法】

◆ 提供してもらうお米が玄米である場合が多々ある。保存の上では保存期間が確保できるが、提供する前に精米する必要があり、仲の良いお米屋さんに協力してもらって精米、小分けを行っている。

◆ 冷凍設備が限られているため、多量の冷蔵、冷凍品の提供があった場合は提携しているお菓子屋さんの冷凍設備を一時的に借りて保存し、足りなくなったら取りに行っている。

◆ フードバンクだけでは運営資金を確保できないため、就労支援施設の運営をしている。

ピーシーズの食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

◆北海道は各地域で農産物の規格外品の廃棄が大量にあるため、北海道フードバンクネットワーク等活用してフードバンクの活動に生かす仕組みを構築していきたい。